

平成24年度全国学力・学習状況調査の結果について（お知らせ）

平成24年度全国学力・学習状況調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の一部分であることなどに留意して分析を進め、このたび、名寄市小・中学校の児童生徒の学力や学習状況の傾向をまとめることができました。

つきましては、明らかになった課題を克服し、さらに児童生徒の学習改善や学習意欲の向上を図るために、学力や学習状況の傾向及び指導の改善策などについてお知らせいたしますので、皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

1 小学校の教科に関する調査結果の概要について

- ※ 全国とは抽出調査における全国の平均正答率のことです。
□・漢数字・（ ）・記号は設問番号を示しており、調査問題は国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。
また、改善策の例については、国立教育政策研究所の報告書から一部を抜粋して掲載しています。

国語 A ～ 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

<全国と比べて成果が見られた設問>

- 1一（1）学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む。（新しいビルを建築する）
1二（3）学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く。（白いぬのを青くそめる）

<全国と比べて課題が見られた設問>

- 1二（1）学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く。（病院でいしゃにみてもらう）
1二（2）学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く。（東からたいようがのぼる）
7 目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書く。
8 日常生活で使われている慣用句の意味を正しく理解する。
9二 学年別漢字配当表に示されている漢字を筆順に従って正しく書く。

【改善策の例】

- 学習した漢字を繰り返し書いて練習することのみならず、漢字のもつ意味を考えたり、同音異義や同訓異義、部首や点画に気を付けて書いたりすることができるように指導します。
- 文の中における主語と述語との関係や、修飾と被修飾との関係などを整えるとともに、文と文をつなぐ接続語や指示語などを適切に使うことができるように指導します。
- 国語辞典などを用いて調べ、様々な慣用句の意味を理解できるように指導することに加え、自分の表現に用いることができるように意図的に指導します。
- 筆順の指導に当たっては、原則をただ暗記するのではなく、個々の漢字と結び付けながら理解できるように指導します。

国語 B ～ 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

<全国と比べて成果が見られた設問>

- 1三 手紙の構成を理解し、後付けを書く。
3一イ 目的に応じ、雑誌や読んだ記事の特徴を捉える。
3二 編集者の意図を捉える。

<全国と比べて課題が見られた設問>

- 1 二 目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、内容の中心を明確にして書く。
- 2 二 資料を読み取った上で、質問をしたい内容を明確にして発表する。
- 3 四 複数の記事を結び付けながら読み、事実を基にして自分の考えをもつ。

【改善策の例】

- 相手の立場に立って、書く事柄を整理することができるように指導します。さらに、相手と自分との関係を意識させ、丁寧語や尊敬語、謙譲語を適切に用いることができるよう、発達段階に応じて繰り返し指導します。
- 話し合いにおいては、具体的な数値を引用し、それを考えの理由や根拠にするように指導します。
- 書き手がどのような事例を挙げ、考えの理由や根拠としているかを捉えることができるように指導します。また、書き手がどのような感想や意見、判断や主張などを行い、考えを論証したり説得したりしようとしているかなどについて、推論することができるように指導します。

算数 A ～ 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

<全国と比べて成果が見られた設問>

- 1 (5) 加法と乗法の混合した整数の計算をすることができる。
- 1 (6) 異分母の分数の減法の計算をすることができる。

<全国と比べて課題が見られた設問>

- 2 (2) 十進位取り記数法の仕組みについて理解している。
- 3 (1) 場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解している。
- 5 (1) 面積についての感覚を身に付けている。
- 6 (2) 立体図形の辺と面の垂直の関係を理解している。
- 7 円の中心と半径について理解している。

【改善策の例】

- ある数の10倍、100倍、10分の1、100分の1の大きさをつくると、その数字の並び方は変わらないが、小数点の位置がどのように変化するかについて調べる活動を取り入れます。
- 数量の関係が文章で与えられた場面で、文章から分かることを順序よく図に表す活動を取り入れます。
- はがきや折り紙、机、新聞紙、教室など、身の回りのものの面積の大きさを考える際に、縦や横の長さの見当を付け、およその面積を求める活動を取り入れます。
- 直方体の箱に三角定規を当て、辺と辺、面と面、辺と面の平行や垂直の関係について具体的に調べる活動を取り入れます。
- コンパスを用いて模様をかく際には、かいた模様を振り返り、円の中心や半径を見出す活動を取り入れます。

算数 B ～ 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

<全国と比べて課題が見られた設問>

- 2 (3) 示された複数の情報を関連付けて解釈し、算数の用語で的確に表現されているものを選択できる。
- 3 (1) 面積が等しい直角三角形の数に着目し長方形の内接するひし形の面積の求め方を理解できる。
- 4 (2) 示された時間の範囲から、目的に応じて所要時間の見当を付けることができる。

【改善策の例】

- 用語を学習した時だけでなく、その後の学習や他の教科の学習においても積極的に使うように指導します。
- 面積が等しいと分かる部分に□などの記号を付けていく活動を取り入れ、図形の特徴を言葉や記号を用いて理解できるように指導します。
- 例えば、調理に要する時間の範囲が示されたいくつかの表を見て、一連の調理に要する時間の範囲を求める活動を取り入れ、調理時間が最も長くなる場合は、最大の所要時間を選択することや、調理時間が最も短くなる場合は、最小の所要時間を選択することが適切であることに気付くよう指導します。

理科 ～ 「知識」を主として「活用」に関することができるかどうかを一体的にみる問題

<全国と比べて成果が見られた設問>

- 2 (1) 虫眼鏡の適切な操作方法を身に付けている。
- 2 (3) 気温が異なる地域のサクラの開花時期を、データを基に分析できる。
- 2 (4) 植物の受粉と結実の関係について、科学的な言葉や概念を理解している。
- 3 (5) オ 水は、温度によって状態が変化する性質を、物を動かす「エネルギーの見方」として適用できる。

<全国と比べて課題が見られた設問>

- 1 (3) 水に溶けている物の様子について、実験結果を基に自分の考えを改善して、その理由を記述できる。
- 3 (1) イ 光電池や乾電池の働きを強くするための要因を理解している。
- 3 (3) 並列つなぎについて、乾電池の向きと車の進行方向とを関係付けて、分析できる。
- 4 (1) 方位磁針の適切な操作方法を身に付けている。

【改善策の例】

- 実験結果を基に自分の考えを改善するには、予想や仮説とその実験結果とを照らし合わせながら考察するように指導します。
- 実際に光電池や乾電池で動く車などを作り、走らせて、物が動く様子と検流計の針の振れ方とを関係付けながら考察し、電流の働きを強くする要因について記録したり説明したりする学習活動を行います。
- どの方位磁針も色の付いた針が同じ北の方向を向くことを確認し、教室のどこにおいても方位磁針は同じ方位を指すことのできる器具であることを捉える学習活動を行います。また、校庭などの様々な場所において、同時刻の太陽の方位を方位磁針を使って調べる活動を通して、どの場所においても太陽は同じ方位にあることを確認し合う学習活動を行います。

2 中学校の教科に関する調査結果の概要について

- ※ 全国とは抽出調査における全国の平均正答率のことです。
□・漢数字・()・記号は設問番号を示しており、調査問題は国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。
また、改善策の例については、国立教育政策研究所の報告書から一部を抜粋して掲載しています。

国語A ～ 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

<全国と比べて成果が見られた設問>

- 2一 手紙の形式を理解して書く。

- 4一 聞き手や場面を意識して、適切な語句を選択して話す。
- 4二 話し言葉と書き言葉との違いを理解し、適切に使う。
- 7一 (3) 文脈に即して漢字を正しく書く。(鉛筆をかりる)
- 7五 はがきの書き方を理解して書く。

<全国と比べて課題が見られた設問>

- 5二 必要な情報が相手に伝わるように説明する。
- 7一 (1) 文脈に即して漢字を正しく書く。(地域の人をしょうたいする)
- 7二 (1) 文脈に即して漢字を正しく読む。(考えに相違がある)
- 7二 (3) 文脈に即して漢字を正しく読む。(会議で決を採る)
- 7七 (1) 抽象的な概念を表す語句について理解する。

【改善策の例】

- 説明する文書を書く際には、伝えたい事柄が的確に盛り込まれているか、全体の文脈に沿って個々の事柄が説明されているかなどを確認した上で書くように指導します。
- 漢字を書くことの指導においては、漢字の字形や画数、読みや意味などの基本的な事項を確実に指導します。
- 漢字を読むことの指導においては、文脈の中で意味を理解しながら読むことができるように指導します。
- 抽象的な概念を表す語句の指導においては、語句の辞書的な意味を基にして、文脈の中での意味を捉えさせるように指導します。

国語 B ～ 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

<全国と比べて成果が見られた設問>

- 1二 話の展開に注意して聞く。
- 1三 相手の発言を注意して聞き、自分の考えを書く。
- 3一 物語の展開や表現の特徴を捉える。
- 3二 物語の場面の展開を捉える。

数学 A ～ 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

<全国と比べて成果が見られた設問>

- 2 (1) 整式の加法と減法の計算ができる。
- 3 (1) 簡単な比例式を解くことができる。
- 7 具体的な命題について、仮定と結論を区別して、もとの命題の逆をつくることができる。
- 14 (1) 前の試行が次の試行に影響しない場面において、「同様に確からしい」ことの意味を理解している。
- 14 (2) 簡単な場合について確率を求めることができる。

<全国と比べて課題が見られた設問>

- 1 (4) 正の数と負の数を用いて日常的な事象を処理することができる。
- 2 (3) 文字の値が整数のときに、式の値について考察することができる。
- 6 (1) 同位角が等しければ2直線は平行であることを理解している。
- 6 (2) n角形の内角の和を求める公式の意味を理解している。
- 10 (1) 反比例の関係をあらわす表から、表の中の値を求めることができる。

【改善策の例】

- 例えば、最高気温 9°C と最低気温 -2°C の差を求める式は $9 - (-2)$ となることを確認した上で、反対の方向や性質を表す数の差を数直線上の2点間の距離として求める活動を取り入れます。
- 式の値を基にして文字の値を求め、それが数の範囲に当てはまるかどうかを判断するように指導します。
- 平行線と角についての性質を具体的な場面で捉える活動を取り入れます。
- n 角形の内角の和を求める公式 $180^{\circ} \times (n - 2)$ における $(n - 2)$ が1つの頂点からひいた対角線で分割された三角形の数を意味することを確認する活動を取り入れます。
- 比例と反比例の表を対比してそれぞれの変化の様子を比べたり、式やグラフを比べたりして、共通点と相違点をまとめる活動を取り入れます。

数学B ～ 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

＜全国と比べて成果が見られた設問＞

- 3 (1) 総度数の意味に基づいてヒストグラムから必要な情報を適切に選択することができる。
(※ヒストグラムとは、バラツキの分布状態を棒グラフで表示したもの)
- 6 (1) 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。

＜全国と比べて課題が見られた設問＞

- 2 (1) 事柄が成り立つ理由を示された方針に基づいて説明することができる。
- 5 (3) 問題解決の方法を数学的に説明することができる。
- 6 (3) 問題解決を振り返って、数量の関係を数学的に解釈し、関係が成り立つ理由を説明することができる。

【改善策の例】

- 事柄が一般的に成り立つことを説明するために、結論とその根拠を、文字式や言葉を用いて的確に表現する活動を取り入れます。
- 日常的な事象を、形や大きさ、位置関係に着目して観察し、その特徴を捉え、図形の性質を利用して問題解決できる場面として、直接測りにくい長さを求める場面を設定する活動を取り入れます。
- 事象の中にある2つの数量の関係がどのような関数であるかを判断し、その理由を数学的な表現を用いて説明する活動を取り入れます。

理科 ～ 「知識」を主として「活用」にすることができるかどうかを一体的にみる問題

＜全国と比べて成果が見られた設問＞

- 1 (2) 動物を飼育する場面で、両生類の子と親の体のつくりと働きや生活場所に関する知識を活用して、飼育の環境を整えた理由を説明することができる。
- 2 (4) 「省エネの効果を比較する」という実験の目的のもと、「明るさ」の条件を制御した実験を計画することができる。
- 3 (5) 示相化石に関する知識を身に付けている。
(※示相化石とは、その化石が含まれる地層の堆積環境を明確に示す化石のこと)
- 3 (6) 「石灰岩(石灰石)にうすい塩酸をかけると二酸化炭素が発生する」という石灰岩の見分け方に関する技能を身に付けている。
- 4 (4) 「いくらでも食塩水を濃くできるわけではない」という他者からの指摘を分析し解釈して、他者の考えの根拠を説明することができる。

＜全国と比べて課題が見られた設問＞

- ② (1) 電流計の読み方の技能を身に付けている。
- ② (5) 白熱電球をLED電球に交換しようとする場面で、電力量の知識を活用して、最も省エネの効果がある場所を考え、その根拠を説明することができる。
- ③ (4) 火山灰の広がり方を考察する場面で、火山などの知識を活用し、偏西風の影響などの情報から、火山と観察地などの位置関係を推定することができる。
- ④ (5) 液体のようすについて予想を立てる場面で、水溶液の知識を活用して、予想を粒子のモデルで表している図を指摘することができる。
- ④ (6) 「水槽の中の液体が、食塩水の1層なのか、上層が水、下層が食塩水の2層なのか」ということを検証する実験を計画することができる。

【改善策の例】

- 電流回路の実験で電流計や電圧計の目盛りを読み取らせるときは、端子の選択によって読み取るべき数値が異なることを理解させ、最小目盛りの1/10まで目分量で読み取ることを指導します。
- 授業において自宅や学校などの白熱電球を利用している場所と使用している時間を調べ、どの場所の白熱電球をLED電球に交換すれば、より消費する電力量を減らすことができ、省エネの効果が高いかを考えさせる場面を設定します。
- 偏西風の影響などを考え、観察した地層の火山灰がどこの火山の噴出物であるかを考えさせるなどの学習活動を行います。
- 実際の実験を通して、化学的な事象と粒子のモデルとを関連付けて理解できるように指導します。
- 化学的領域の基本的な見方や概念の柱は「粒子」であり、化学的な事象について、粒子のモデルと関連付けて理解し、説明できるように指導します。

3 小学校の児童質問紙調査、中学校の生徒質問紙調査の結果の概要について

※ 全国とは抽出調査における全国の児童生徒が回答した割合のことです。
()は質問番号を示しており、調査問題は国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

◆ 小学校の児童質問紙調査の結果の概要について

＜全国と比べて望ましい傾向を示した項目＞

- (8) 普段(月～金曜日)、午後10時より前に寝る。
- (26) 家で、学校の授業の復習をする。

＜全国と比べて努力を要する傾向を示した項目＞

- (5) 自分には、よいところがあると思う。
- (14) 学校の授業時間以外に、普段(月から金曜日)、1日当たり1時間以上勉強をする。
- (15) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり2時間以上勉強をする。
- (28) 新聞やテレビのニュースなどに関心がある。
- (82) 国語Aの解答時間はやや足りなかった。
- (83) 国語Bの解答時間はやや足りなかった。

◆ 中学校の生徒質問紙調査の結果の概要について

＜全国と比べて望ましい傾向を示した項目＞

- (19) 家の人と普段(月～金曜日)、夕食を一緒に食べている。
- (48) 読書は好きである。
- (69) 理科の授業内容はよく分かる。

<全国と比べて努力を要する傾向を示した項目>

- (5) 自分には、よいところがあると思う。
- (1 1) 普段(月～金曜日)、1日当たり3時間以上、テレビゲームをしている。
- (1 4) 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり2時間以上、勉強をする。
- (1 5) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり2時間以上、勉強をする。
- (2 5) 家で、学校の授業の予習をしている。
- (2 8) 新聞やテレビのニュースなどに関心がある。
- (3 4) 近所の人に会ったときは、あいさつをしている。

【小・中学生共通の改善策の例】

○児童生徒に自分のよさを感じ取らせるために

- ・学校では、学級活動で、児童生徒一人一人のよさが発揮できる係活動や集会活動を仕組み、他の児童生徒とかかわりながら成長できる場を意図的につくります。
- ・家庭では、大人にとって取るに足らないことでも、子どもの努力や成功を認め励まし、自信や有用感を育てるように働きかけてください。

○家庭学習の充実を図るために

- ・学校では、家庭学習の手引などを活用し、学年に応じた学習方法や学習時間の定着、1日の生活リズムの確立などについて指導します。
- ・家庭では、「早寝・早起き・朝ご飯」などの生活のリズムを整えることや、子どもが集中して学習できる環境づくり、子どもの努力を認め励ます声かけなどに努めてください。

4 学力向上の取組について

本市の児童生徒の学力の課題は、基礎学力をはじめ、①根拠を明らかにして考える、②物事を関連付けて考える、そして、③考えたことを、条件に応じて、まとめ・表す、といった力を身に付けさせていくことであります。

このような課題を踏まえ、名寄市教育委員会では、授業改善と望ましい生活のリズムの定着を「車の両輪」と位置付け、名寄市教育改善プロジェクト委員会を中心として市内の小・中学校が一体となった総合的な学力向上の取組を推進してまいります。

【主な重点】

- (1) 学習内容を確実に身に付けさせるために、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ります。
- (2) 思考力、判断力、表現力等を育むために、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、言語活動の充実を図ります。
- (3) 望ましい生活のリズムの定着と学習習慣の確立を図るために、「早寝・早起き・朝ご飯」運動を継続するとともに宿題や個に応じた課題を持たせるなどして家庭学習の充実を図ります。